

第4回「大阪“みなと”  
カーボンニュートラルポート（CNP）推進協議会」  
議事要旨

日時 令和8年1月27日（火）午前10時00分

場所 TKP ガーデンシティ大阪淀屋橋

19階バンケット 19A

## 第4回「大阪“みなと”カーボンニュートラルポート（CNP）推進協議会」議事要旨

### 1 開催日時及び場所

日時 令和8年1月27日（火）午前10時00分

場所 TKP ガーデンシティ大阪淀屋橋 19階バンケット19A  
（大阪市中央区今橋2丁目5番8号）

### 2 出席者

#### 【構成員】

（団体）

大阪港運協会

（企業）

岩谷産業株式会社

大阪ガス株式会社

カナデビア株式会社

株式会社商船三井

株式会社商船三井さんふらわあ

株式会社三井E&S

川崎汽船株式会社

関西電力株式会社

岸和田製鋼株式会社

コスモ石油株式会社

堺泉北埠頭株式会社

櫻島埠頭株式会社

日本酢ビ・ポパール株式会社

日本製鉄株式会社

日本郵船株式会社

阪神国際港湾株式会社

丸紅株式会社

三井化学株式会社

三井物産株式会社

三菱重工業株式会社

三菱ロジスネクスト株式会社

UBE株式会社

夢洲コンテナターミナル株式会社

（有識者）

ロジスティクス経営士 上村 多恵子

同志社大学法学部 教授 黒坂 則子

## 【特別構成員】

(団体)

全日本港湾運輸労働組合同盟

(企業)

寺崎電気産業株式会社

## 【行政機関】

(国)

国土交通省海事局

国土交通省近畿地方整備局

(地方公共団体)

大阪府商工労働部

大阪市環境局(オブザーバー)

## 【事務局】

大阪港湾局

## 3 議事

- (1) 大阪港・堺泉北港・阪南港港湾脱炭素化推進計画の変更
- (2) CNPに関する官民の動向
- (3) 大阪“みなと”でのCNP実現に向けた戦略(案)
- (4) 今後のスケジュール

## 4 経過

### 1. 開 会

事務局から、会議を開会する旨が宣言された。

### 2. 設置要綱に基づく開催及び会議の一部公開についての確認

事務局から、「大阪“みなと”カーボンニュートラルポート(CNP)推進協議会」設置要綱に基づき協議会を開催することについて確認がなされた。

また、本協議会の内容については原則「非公開」であるが、冒頭部分のみ報道関係者による撮影を可能とすることについて確認がなされた。

### 3. 挨拶

座長から挨拶があった。

### 4. 出席者紹介

事務局から、当日出席者一覧による出席者の紹介がなされた。

## 5. 配付資料の確認

事務局から、配付資料の確認がなされた。

## 6. 議 題

次の議題について資料により説明がなされた。

### (1) 大阪港・堺泉北港・阪南港港湾脱炭素化推進計画の変更（資料1）

（事務局より資料1を説明）

### (2) CNPに関する官民の動向（資料2-1～2-5）

（近畿地方整備局より資料2-1を説明）

<主な意見・質問等>

- 大阪港が CNP 認証に先進的に取り組み、取得できたことは非常に良いことだと思う。このような流れを促進させるためにも、荷役機械や LED の導入に対して、補助やインセンティブがあれば紹介したらどうか。

→（行政機関）環境省で荷役機械関連の導入支援等がある。具体的には、従来の荷役機械の導入費用から HV 等の低・脱炭素化の荷役機械導入費用の差額の 2/3 を補助するものである。

→（事務局）LED に対する補助は昨年度実施した。現在は荷役機械に対する補助を実施している。具体的には、導入等費用の 1/2 の補助を今年度から開始している。

（国土交通省海事局より資料2-2を説明）

<主な意見・質問等>

- 現状の IMO Net-Zero Framework の制度内容の報奨金の規模感について教えていただけないか。

→（行政機関）具体的な金額は決まっていないが、まさに国内でも議論している状況である。個人的には、BT（ベースターゲット）を達成できなかった場合に支払う負担金と、代替燃料代から報奨金を差し引いた金額との差が一つの壁としてあると考える。

- 燃料認証については、どういった形で制度設計を進めていくのか教えていただけないか。

→（行政機関）IMO では、LCA (Life Cycle Assessment) ガイドラインを 2024 年に策定しており、燃料ごとの GHG 算定方法や、燃料の原料抽出から精製までで考慮すべき内容等について述べられている。本制度を実行するにあたっては、船舶が使用する燃料がガイドラインの内容を踏まえたものとなっているかの認証も必要であるため、ガイドラインの改訂や、そもそもの認証団体を認定するためのガイドラインの制度設計を進めている段階である。

（大阪府商工労働部より資料2-3を説明）

（大阪ガスより資料2-4を説明）

(事務局より資料2-5を説明)

<主な意見・質問等>

●CNP 認証取得について、ターミナル運営事業者より申請を行いたい旨の申し出があり、これに同意する形で、弊社は被認証者となった。

CNP の普及促進の積極的な取組みに、この場をお借りして、関係者の皆様にお礼を申し上げるとともに、他ターミナルで申請意向があれば、我々も協力してまいりたい。

●デジタルプラットフォームについて、新規にどのようにつくっていこうと考えているのか。

→ (事務局) 関係各所にヒアリングを実施し、いただいた意見として、CNPに関する情報が不足しているなどがあった。形態としては、インターネット上でアクセスできるようなもので、様々な情報をここで取れるようなものができたらと考えている。

●大阪港湾局が総監督・プロデューサーとして、参加企業の皆様とともにつくっていければ良いと感じた。

(3) 大阪“みなと”カーボンニュートラルポート (CNP) 形成戦略について (資料3)

(事務局より資料3を説明)

<主な意見・質問等>

●資料3の大阪“みなと”のめざす姿・現況のうち、排出特性別 CO2 排出量の表について、工場等の項目に「燃料・電気」と混載している記載となっているが、この内訳をご教示いただけないか。

→ (事務局) 昨年度の第3回推進協議会でも示したところではあるが、おおよそ「電気：60%」、「燃料：40%」の配分となっている。

●2030年度までの時間が限られている中で、大阪港湾局として、どの分野・施策を最優先事項と捉えているのか。また、港ごとに特徴が異なる場合はその内容についてご教示いただけないか。

→ (事務局) 大阪港はコンテナなど商業港の要素が強く、戦略の柱1が重要に、また、府営港湾は工業港の要素が強く、戦略の柱2が重要になると考える。3港全体としては、戦略の柱3に取り組むとともに、戦略の土台にある官民連携・民民連携を促し、皆様方をサポートしていくことが重要だと考える。

●総合監督・プロデューサーとして、戦略の土台で大きく下支えをしながら、戦略の柱1, 2, 3に取り組むことが非常にわかりやすく、また、力強く感じた。

●3港それぞれの特徴を生かし、大阪“みなと”として切磋琢磨して進めていくことが良いと感じた。

(4) 今後のスケジュール (資料4)

(事務局より資料4を説明)

## 7. 閉 会

事務局から、会議を閉会する旨が宣言された。